

第2次福知山市健康増進計画(案)に対するご意見

- 1 募集期間 令和4年6月8日～6月30日まで
 2 意見提出者 2人 計4件

項番	ページ数	意見	意見に対する考え方
1	23	市民アンケートによる数値目標の最終評価 身体活動・運動 「継続した運動(週に1回以上の運動)をしている人の割合」 健康増進に貢献している団体への施設利用料の優遇や条件緩和などを検討されたい。	市が所管しているスポーツ施設等は、各施設ごとの条例や規則で利用料や減免要件を規定しています。それぞれの施設運営の詳細につきましては各担当課へお問い合わせください。 運動・スポーツ等の活動を促進していくには、場所の確保も大きな課題である認識しています。今回いただいたご意見を各担当課で共有し、民間施設の活用も含めて、活動していただきやすい環境づくりにつとめてまいります。
2	39	第1次福知山市健康増進計画推進事業の取組み 身体活動・運動 貯筋体操(フレイル予防)について ・本市における貯筋体操の参加条件は65歳以上・利用料1,500円である。運動習慣をつけるため、運動の身体的効果として、65歳以上は遅いのではないかと。 ・運動指導者への妥当な報酬を望む。 ・65歳以上のサロンは、利用料1,500円だが、市が主催する地域は無料であり、不公平である。	介護予防を目的とした「貯筋体操(フレイル予防)」は、年齢・運動履歴に関わらず体力の維持効果があることが報告されています。ご意見のとおり、若い年代のうちから自身の健康に関心を持ち、個々の環境にあった健康づくりを実践していただくことが重要と認識しており、第2次計画の重点項目である「身体活動・運動」を、幅広い世代で実践していただけるよう取り組んでいきたいと考えております。貯筋体操の運用方法及び報酬等については、今回いただいたご意見を関係課で共有し、近隣市の状況を把握する中で検討を進めていきたいと考えております。
3	-	その他 身体活動・運動「チャレンジデー」について ・市民に運動を進める格好の機会であるにもかかわらず、取り掛かりが遅く、市民への周知が間に合っていない。 ・年間通じて運動施設や商業施設(スポーツジム)などと協力し、チャレンジデーに取り組める仕組みをつくってはいかがか。例えば『協力宣言』を公募し、達成した団体などは実施人数に合わせて商品贈呈をするなど。 ・市から声がかかった団体等にだけイベントに協力しているのはいかがか。 ・チャレンジデーを定着させることが、市民の運動習慣とその効果になると考える。	住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」は、市民団体や民間企業等と連携しながら、運動やスポーツなどの多様な活動を活性化し、心身ともに豊かな生活を送ることができるまちづくり「アクティブシティ」の実現につながる取り組みです。計画49Pには、「市民団体や民間企業等との積極的な連携」を掲げており、他のイベント事業等も含めて、できるだけ多くの関係団体、民間企業等に参画いただきながら取り組みを進めていきたいと考えております。
4	-	その他 アクティブシティ推進事業「チャレンジデー」について ・イベント参加者は高齢者が半数以上であったため、児童・生徒・大学生等も巻き込みながら実施されることを望む。 ・イベントの参加者の年齢層を拡げることで、市全体でアクティブシティ推進事業に取り組むための基盤となる。 ・ハンディキャップの有無を問わず、幅広い人が参加できる創作活動・スポーツ競技等の実施も重要である。	上記でも回答のとおり、住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」は、市民団体や民間企業等と連携しながら、運動やスポーツなどの多様な活動を活性化し、心身ともに豊かな生活を送ることができるまちづくり「アクティブシティ」の実現につながる取り組みです。本計画では、アクティブシティを全市的に普及させていくための事業計画を掲げております。広く市民のみなさまにも周知を図り、幅広い世代の方に実践いただきたいと考えております。